

平成29年度 西ヶ谷戸最終処分場周辺及び 河川水質検査結果報告



※水質検査のようす

村では、人の健康保護と環境保全のために年2回、谷太郎川、小鮎川、金翅川の3河川（5カ所）を定点として、基本的な水質項目の検査を実施しています。

検査項目

- PH（水素イオン）：PH7が中性で、それより数値が大きいとアルカリ性、小さいと酸性。
- BOD（生物学的酸素要求量）：水のきれいさを示す代表的数値。数値が低いほど良い。
- COD（化学的酸素要求量）：水の汚染度を示す数値。数値が低いほど良い。
- SS（浮遊物質）：数値が低いほど濁りが少なく、透明度が高い。
- DO（溶存酸素量）：数値が高いほど酸素量が多く、汚染源となる有機物が少ないため、数値が高いほど良い。
- 大腸菌群数：し尿による汚染を示す数値。数値が低いほど良い。

検査項目		実施日	PH	BOD	COD	SS	DO	大腸菌群数
谷太郎川	水の尻沢橋（下流）	平成29年9月27日	7.8	0.7	1.0	<1	9.9	1,100
		平成30年1月22日	7.4	0.1	0.6	<1	12.4	22
小鮎川	原下地区	平成29年9月27日	7.9	0.7	1.0	<1	9.7	2,400
		平成30年1月22日	7.6	0.3	0.7	<1	12.5	330
	片原橋（下流）	平成29年9月27日	7.7	0.5	1.0	<1	9.6	2,200
		平成30年1月22日	7.6	0.5	1.1	2	12.4	220
	寺鐘橋（下流）	平成29年9月27日	8.0	0.4	1.2	1	9.6	11,000
		平成30年1月22日	7.7	0.5	1.3	<1	12.5	110
金翅川	御門橋（上流）	平成29年9月27日	8.1	0.7	1.6	<1	9.6	3,300
		平成30年1月22日	7.9	0.3	1.5	<1	11.9	170
基準値（目標値）			6.5～8.5	2mg/ℓ 以下	15mg/ℓ （許容限度）	25mg/ℓ 以下	7.5mg/ℓ 以上	1,000MPN/ 100ml以下

- 記号「<」は、定量下限値未満であることをあらわします。
- 村内の谷太郎川、小鮎川、金翅川では環境基準が定められていないため、相模川中流（相模大橋付近）の水域類型Aを目標値としています。



- PH、BOD、COD、SS、DOの項目全てにおいて、環境基準を満たす数値を計測しました。
- 大腸菌群数の数値が高くなっていますが、河川の水量や鳥獣のふん尿、流域の生活排水などさまざまな影響が考えられます。今後も動向を注視していきます。
- 西ヶ谷戸最終処分場周辺の水質は、環境基準を全て満たしていました。主な結果は次のとおりです。

PH / 7.9、BOD / 0.5、COD / 1.1、SS / <1
（採水日は平成30年2月6日、基準値は上記参照）